

初めての工事の運用について

1. 初めての工事の定義
2. 初めての工事の運用マニュアル

運用開始: 2012年9月4日(火)

初めての工事の定義

1. 全員がスポット業者で行う場合
2. 仕上工事でグループ全員が初めて行う場合
3. 配管・製缶で初めて行う工事(パチ当て、デッキ床面補修、肉盛り、溶接等の単純作業を除く、配管工事も一部配管取替等の単純作業は除く)

初めての工事対象外のもの

1. 指揮者が初めての工事でも、グループ内にその工事に熟知した経験者がいる場合
2. 同種工事で場所が違うだけの工事の場合
3. 他地区で同種工事の経験がある場合(ただし、グループの能力、技術の精査が必要)

初めて仕事の運用マニュアル

施工会社(2次)	メカニカル工事室	備考
<p>作業配置を決めて初めての仕事かどうか判断する。</p> <p>現場にKYボードの前に掲示して施工する</p> <p>工事完了後メカニカル工事室に返却</p>	<pre> graph TD subgraph MechanicalRoom [メカニカル工事室] A[①作業指示書] --> B{④確認} B -- ⑥ --> C[⑥SV選任] C --> D[/⑨データ化/] D --> E[保管] end subgraph ConstructionCompany [施工会社(2次)] F[②作業配置] --> G{③確認} G -- Yes --> B G -- No --> F H[⑦初めての仕事] --> I[⑧作業完了] I -- 返却 --> J[保管] end B --> F G --> H B --> I </pre> <p>①作業指示書</p> <p>②作業配置</p> <p>③確認</p> <p>④確認</p> <p>⑤ 担当、CL、副課長、室長</p> <p>⑥SV選任</p> <p>⑦初めての仕事</p> <p>⑧作業完了</p> <p>⑨データ化</p> <p>保管</p> <p>返却</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①作業指示書発行 ②作業配置検討 ③初めての仕事か判断(2次会社) ④メカニカルで確認(最終確認は室長) ⑤初心者マークを渡す ⑥SVの配置を決め打ち合わせをする ⑦作業当日初心者マークをKYボードに掛ける ⑧作業完了後初心者マークをメカニカルへ返却する ⑨初めての仕事をデータ化する(工場別件数及び投入人数、会社名) 配置表にマーキングしてもよい